

指導物語 (1941)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 107分

初公開日 1941/10/04

【解説】

上田広の同名小説を、沢村勉が脚色し熊谷久虎が監督した国策映画。老機関士が若い兵士に列車運転を指導する姿が、セミドキュメンタリータッチで描かれる。熊谷はこの作品を最後に、11年にわたり映画の表舞台から姿を消した。

瀬木は後三年で定年を迎えるベテラン機関士。妻を亡くし三人娘を育てる瀬木に、徐々に列車運転の指導の仕事が回ってくる。佐川新太郎という二等兵が、彼の担当だ。長女の邦子は、そんな父のために母親代わりとなって妹たちの面倒を見る。さっそく瀬木による厳しい訓練が始まった。昼間は列車に乗り込み実地訓練を行い、夜には学科の勉強をする毎日。しかし瀬木の熱心な指導は、佐川に重圧を与えていた。

【クレジット】

監督 熊谷久虎

製作 森田信義

原作 上田広

脚色 沢村勉

撮影 宮嶋義男

美術 北猛夫

平川透徹

編集 後藤敏男

音楽 早坂文雄

出演 丸山定夫

老機関士瀬木

原節子

その長女邦子

若原春江

次女咲子

三谷幸子

三女好子

藤田進

機関員の兵士・佐川新太郎

馬野都留子

新太郎の母

北沢彪

機関助手 北原

藤輪欣司

機関士 田町

汐見洋

機関区長

横山運平

老炭水夫

小杉義男

指導員

深見泰三

太った機関士

榊田敬治

田舎駅助役

真木順

部隊長

龍崎一郎

中隊長

沼崎勲

初年兵教官

柳谷寛

班長